

【問】 2003 年 國學院大學

次の文章A～Cを読んで、後の問いに答えなさい。

A ⁽²¹⁾承久の乱ののち、新たに⁽²²⁾新補地頭が置かれ、幕府勢力は広く西国まで浸透していった。地頭は荘園領主の年貢を横領して、支配権の拡大を狙った。これに対抗するために、荘園領主は地頭に荘園の管理を任せるかわりに、⁽²³⁾一定額の年貢納入を請け負わせる約束を交わしたり、⁽²⁴⁾荘園の土地・農民を分割して、互いに干渉することなく支配する契約を結んだりした。

問1 下線部(21)は西暦何年に起こったか。次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア 1219年 イ 1221年 ウ 1225年 エ 1232年 オ 1247年

問2 下線部(22)の得分について、次のア～エの中から、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

ア 田畠11町につき1町の免田から納められる年貢。

イ 1段につき5升の加徴米。

ウ 市の交易による収益の四分の一。

エ 山野河海からの収益の半分。

問3 下線部(23)を何というか。次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア 下地中分 イ 徳政令 ウ 守護請 エ 百姓請 オ 地頭請

問4 下線部(24)に関して、この契約により絵図に描かれた荘園は、どこにある何という荘園か。次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア 伯耆の東郷荘 イ 摂津の長江荘 ウ 紀伊の阿氏河荘

エ 薩摩の島津荘 オ 紀伊の柿田荘

B 鎌倉時代には産業が発達した。商品の生産性が高まると流通も盛んになり、荘園には市場が生まれ、⁽²⁵⁾定期的な市も開かれるようになった。また、商工業者は同業者の間で、⁽²⁶⁾特権的団体を組織した。商取引には⁽²⁷⁾銭貨が使用され、銭を貸して利子をとる⁽²⁸⁾金融業者もあらわれ、⁽²⁹⁾河川・港などの交通の要衝地が年貢輸送の拠点として発展した。

問5 下線部(25)に関して、次のア～エの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 市場で販売する者から、棟別銭を徴収した。

イ 市場で販売する者から、祠堂銭を徴収した。

ウ 月三回、三斎市が開かれた。

エ 月六回、六斎市が開かれた。

問6 下線部(26)を何というか。次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア 惣 イ 結 ウ 座 エ 寄 合 オ 株仲間

問7 下線部(27)について、もっとも多く使用された銭貨を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 皇朝十二銭 イ 明 銭 ウ 富本銭
エ 唐 銭 オ 宋 銭

問8 下線部(28)を何というか。次のア～オの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 借 上 イ 為 替 ウ 問 丸 エ 頼母子 オ 馬 借

問9 下線部(29)の都市について、次のア～オの中から誤っているものを1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 山城の淀 イ 近江の坂本 ウ 越前の敦賀
エ 越前の一乗谷 オ 伊勢の大湊

C (30) 南北朝合一ののち、室町幕府は明と正式の国交を開き、日本が臣下の礼をとる朝貢の形式によって勘合貿易が行われた。将軍足利 31 は朝貢の形式を好まず、明との国交を中止したが、その後、再開された。再開後の貿易の実権は、大内氏に移り、(32) その居館のある都市 は発展していったが、大内氏が(33) 家臣 に滅ぼされると、貿易も廃止された。

問10 下線部(30)について、この時の南朝側の最後の天皇名を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 後小松 イ 後亀山 ウ 長 慶 エ 後円融 オ 後村上

問11 空欄 31 にふさわしい人名を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 義 満 イ 義 教 ウ 義 政 エ 義 持 オ 義 尚

問12 下線部(32)の都市はどこか。次のア～オの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 豊後の府内 イ 能登の七尾 ウ 周防の山口
エ 加賀の金沢 オ 土佐の岡豊

問13 下線部(33)について、家臣の氏の名を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

ア 陶 氏 イ 毛利氏 ウ 宗 氏
エ 長宗我部氏 オ 尚 氏

【解答】 難易度 ★★★★★ [ふつうです]

A 問1 イ 問2 ウ 問3 オ 問4 ア

B 問5 ウ 問6 ウ 問7 オ 問8 ア

問9 エ

C 問10 イ 問11 エ 問12 ウ 問13 ア